



つなぐちゃん

社協の各事業には、  
社協会費が使われています

# 川島地区 社協だより

川島地区社会福祉協議会 地区社協だより編集委員

第22号  
発行：令和5年3月

古希のお祝い、ふれあい交流事業等を実施



## 団子の頒布

10月29日の縁日・みたらし団子の頒布。  
昨年より団子の本数を増やしましたが、用意  
した 1,000本があっという間に売れました。



## ふれあい交流事業

10月29日のリニアモーターカー乗車ふれあい  
交流事業。  
親も子も楽しいひと時を過ごしました。



## 配食サービス

11月15日に、社協役員が高齢者への配食  
サービスを行い、併せて安否確認を行いました。  
みなさん元気でした。



## 古希のお祝い

12月初旬、自治会長さん(社協役員を兼ねる方もあり)等  
を通じて古希を迎えた方に記念品を贈りました。  
対象者：男性68名、女性70名





### 福祉活動に携わって思うこと



副会長  
小島豊彦

私事ですが、福祉活動に9年間携わりました。

福祉活動とは、ウィキペディアによりますと、「障がい者、生活困窮者、児童、老人などを社会的援助する事」と書いてあります。

少子高齢化が進んで、市では65歳以上の高齢者は全人口の28%で、独居高齢者や高齢者夫婦のみの家庭が増えてきています。

また、世間ではいじめ・虐待等がなかなかなくならず、問題となっています。

福祉活動は子どもから高齢者まで、また内容も多岐にわたる中、組織が縦割りな所があり、横の繋がりが希薄な感じがします。自治会と福祉関係者との連携、或は三世代での活動等横の繋がりがもっとあればいいと思います。より多くの方が福祉に関心を持っていただき、活動に参加し、安心安全でより住みよい街づくりをしたいものです。

この社協だよりは、川島地区社会福祉協議会の活動報告を兼ね、春・冬2回発行しています。関心を持って読んでいただけると有り難いです。

■つながりがある笠田VH  
笠田ボランティアハウスが毎年行う「ベ縄作り」は、子供を含めて80人の参加がある。自治会、シニアクラブ等との連携がよい。  
■利用される河跡湖公園  
昨秋、河跡湖一帯で大規模なマルシェが行われ、賑わった。

(茶話会は誰でも参加できます。)

### 団体、個人が表彰される



岐阜県及び各務原市で行われた社会福祉大会の席上、川島地区から次の団体、個人が表彰(感謝)されました。

■岐阜県社会福祉大会(10月26日)

○社会福祉事業協力援助感謝

川島あゆみの会

松倉西近隣ケアグループ

河田近隣ケアグループ

■市社会福祉大会(11月22日)

○地域福祉特別表彰

苅谷啓子さん

平野笑子さん

### 新・民生委員が決まる

十二月から民生委員が新しく代わりました。民生委員は国が委嘱する非常勤の地方公務員(児童委員も兼務)で、地域福祉の要として活動されます。任期は令和七年十一月までです。

小網 安藤順司 杉本直子

松倉 原基久 小島義則

岩田かね子

河田 林雅則 倉知光子

松原 川俣孝二 野田多津子

緑 鈴木芳男 大石知恵子

渡 野田眞澄 川瀬智美

笠田 田中正明 中園久義

主任児童委員 水野香織

(敬称 略)

### わがまち茶話会

まちの情報を交換しようと、1月19日、「わがまち茶話会」が川島ライフデザインセンターで開催されました。左記は話題の一部。

■防災組織の立上げを

一昨年、大雨で高齢者の避難が出されたが、避難方法、避難先、避難所での対応等の問題が見られ、川島で防災組織を作ってはどうかの意見あり。他地区の防災倉庫には期限切れの食品もあったとのこと。

■笠松行きのバスの運行

現在、笠松行きのバスが運行されているが、本数が少なく、松波病院へ行った人が帰りは一宮回りで帰宅した例がある。増便できないだろうか。